

—第26回全国教育研究交流集会 in 東京—

憲法・教育基本法体制70年、あらためて教育と
教育研究を問い、「教育再生」への対抗軸を探る

—すべての子ども・青年に学ぶ喜びと生きる力を—

2017年12月23日（土）・24日（日）

場所：全国教育文化会館（エデュカス東京）

主催 民主教育研究所

12月23日（土）

ラウンドテーブル 11時～13時

- ① 若い教師の交流
- ② 今(家族)を考える (10時～12時30分)
—家庭教育支援法のねらい
- ③ 原発・政治・教育；下北半島と玄海町の事例
を通して考える
- ④ 学校統廃合と小中一貫教育を考える
- ⑤ 石田和男著作集を読む

全体集会 13時30分～17時30分

基調報告

パネルディスカッション

**今日の国家・社会・教育改革をどう捉え、対
抗する構想をどう描くか**

パネラー

- 進藤 兵さん（都留文科大学）
池谷壽夫さん（『人間と教育』編集長）
梶谷陽子さん（全教中央執行委員）

交流会 18時～20時

12月24日（日）

分科会

9時30分～16時

- ① 学校・社会における排除と貧困
- ② 新学習指導要領と教育課程づくり
- ③ 教科「道徳」に対抗する
道徳性の教育
- ④ 高大接続改革・大学改革
- ⑤ 教師の養成・採用・研修、働き方
- ⑥ 公教育の新自由主義的再編と
父母・市民が求める学校

民主教育研究所

102-0084 東京都千代田区二番町12-1

電話：03-3261-1931・FAX03-3261-1933

E:mail:office@min-ken.org

分科会の概要

- 第1分科会 学校・社会における排除と貧困
- 第2分科会 新学習指導要領と教育課程づくり
- 第3分科会 教科「道徳」に対抗する道徳性の教育
- 第4分科会 高大接続改革・大学改革
- 第5分科会 教師の養成・採用・研修、働き方
- 第6分科会 公教育の新自由主義的再編と父母・市民が求める学校

分科会	世話人	趣旨と討論の柱	レポート
第1分科会	<p>馬場久志 (埼玉大学)</p> <p>池谷壽夫 (了徳寺大学)</p>	<p>人々に刷り込まれる自己責任論と、人を支えるはずの学校や社会を浸食する優勝劣敗論が、有形無形の作用で弱者と人々の分断、そして貧困を生んでいます。</p> <p>その一方で提供される上からの支援策は、問題の深刻化による将来社会の秩序と経済への危機感に発するものであるゆえに、一人一人が本当に必要とすることに関わりなく、支援とはいえさらに個々の努力を求めることで乗り切ろうというものです。</p> <p>そうした中で、人が自分らしく学び成長し人間らしい生活を創り出すために、排除と貧困の現実を知ることだけでなく、子どもにも大人にも寄り添う支援と協同の地道な取り組みに学び、排除の論理と見かけの包摂に惑わされない見通しをもちたいものです。</p>	<p>①基調提案 (馬場久志/埼玉大学)</p> <p>②「若年女性の貧困と排除をめぐって」(杉田真衣/首都大学東京)</p> <p>③「貧困の中にいる高校生の思い」(今井俊哉/川越工業高校)</p> <p>④「非行から見える貧困と社会的排除の問題」(伊藤由紀夫/家裁調査官)</p>
第2分科会	<p>梅原利夫 (和光大学)</p> <p>八木英二 (滋賀県立大学名誉教授)</p>	<p>学習指導要領改訂を「主体的・対話的に深く」分析し、それを乗り越える教育課程づくりの道を探りあいます。</p> <p>改訂の本質を示すもっとも典型的なキーワードとして、「資質・能力」概念を集中的に検討します。それがすえられた経過を追い、その概念自体が未整理であり課題を含んでいること(それは、アクティブ・ラーニングやカリキュラム・マネジメントにも言えます)を問題にします。</p> <p><午前></p> <p>民研・教育課程研究委員会の共同研究として、各論にあたるいくつかの教科をとりあげ、その批判的な分析を通して、対抗的な実践を創造して行くための提案を行い、じっくりと議論します。</p> <p><午後></p>	<p>①「「資質・能力」概念は、なぜ、どのようにしてキーワードとなったのか」(梅原利夫/和光大学)</p> <p>②「OECD/PISAによるコンピテンシー概念の再定義の意味」(八木英二/滋賀県立大学名誉教授)</p> <p>③各教科の分析から、授業実践と教育課程づくりを提案する(民研教育課程研究委員会)</p>

第3分科会	教科「道徳」 に對抗する道徳性の教育	<p>金馬国晴 (横浜国立大学)</p> <p>佐貫浩 (法政大学名誉教授)</p>	<p>検定教科書を使った道徳科授業の開始に対して、どう対抗するかを考えます。そのため、分科会では以下を検討します。</p> <p>①教科書教材について深い批判を行い、いじめを例に、授業でどう扱えるか、どんな可能性を読み込めるか。②私たちの考える道徳性の教育をカリキュラム全体としてどう進めるか、そのなかで道徳科授業を生かしていく可能性と方策について。③「徳目」主義と人権や当事者合意の社会規範などとの原理的な異質性、徳目注入か自分なりの道徳的善さを考え交流する授業かの方法論の違いから。教材読み物の分析には、グループワークの形式もとり入れます。</p>	<p>①基調問題提起 (佐貫浩/法政大学名誉教授)</p> <p>②「徳目」から「価値」への転換 (渡辺雅之/大東文化大学)</p> <p>③「教科書教材の読みかえーいじめ読み物を例に」(笠原昭男/埼玉元中学校)</p>
第4分科会	高大接続改革・大学改革	<p>中嶋哲彦 (名古屋大学)</p> <p>安藤聡彦 (埼玉大学)</p>	<p>文部科学省は、2018年度から「高校生のための学びの基礎診断」を実施し、「高等学校における基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの構築」を進めるとしています。</p> <p>また、現在のセンター試験を廃止し、2020年度からは「大学入学共通テスト」を導入すると発表しました。これらが高校の教育課程や若者の「学力」の在り方に影響を与えること、そして今後の大学教育の在り方にも大きな影響を与えることは必至です。</p> <p>しかし、これらには未知数な点が多い過ぎ、重大なことなのに国民的議論は進んでいません。この分科会では情報と論点を整理し、議論の活性化を目指します。</p>	<p>①問題提起 (中嶋哲彦/名古屋大学)</p> <p>②「高大接続改革の動向と多様化する大学入試」(阿部英之助/名古屋大学)</p> <p>③「大学・高校改革一体化の問題点 一次期学習指導要領と2つの新テストー」(小池由美子/全教高校教文推進委員長・埼玉県立川口北高校)</p>
第5分科会	教師の養成・採用・研修、働き方	<p>勝野正章 (東京大学)</p> <p>荒井文昭 (首都大学東京)</p>	<p>いま、教師の養成・採用・研修の在り方を大きく改変する法改正、制度改革が進められています。こうした政治・行政主導の改革は、教職の専門性や自律性にどのような影響を及ぼすのでしょうか。</p> <p>また、「教職員の働き方改革」が論議され、部活指導員やスクールサポートスタッフの導入などが謳われていますが、こうした施策は教職員が抱えている困難の解決に役立つのでしょうか。そして、最も大切なことは、子どもの学習権保障という観点から、教師の養成・採用・研修や労働条件を検証することです。</p> <p>分科会では、教師の自主研修や教育専門職に相応しい労働条件を制度的に保障することの意義と課題についての報告を受け、現状の分析を深めるとともに、真に求められている改革への展望を議論します。</p>	<p>①問題提起 (荒井文昭/首都大学東京)</p> <p>②「教員自主研修法制の展開と改革への展望」(仮) (久保富三夫/立命館大学)</p> <p>③「教師の労働条件保障と『教職員の働き方改革』の問題点」(仮) (勝野正章/東京大学)</p>

山本由美
(和光大学)朝岡幸彦
(東京農工大学)

教育の分野だけでなく地域全体の新自由主義的な再編が進められています。2016年度までに全国の自治体が、公共施設等総合管理計画の作成を総務省に求められたことを背景に、学校統廃合、小中一貫校化だけでなく、幼稚園と保育園の統合による認定子ども園化、図書館や公民館、社会教育施設の廃止、複合化、多機能化、民営化、などが一斉に行われています。特に学校統廃合、小中一貫校によって小学校区コミュニティをこわすことは、コスト削減のみならず地域の共同を弱体化させることにつながります。

それに対して、各地で市民、保護者の共同による学校やコミュニティを守る運動が起きています。小学校区の地域住民自治組織が住民自治を実現し、小規模校でも存続させている長野県飯田市、阿智村の住民自治に学び統廃合計画をストップさせた福井県大野市、小中一貫校の統廃合の統廃合のみならず公共施設再編に反対する市民のネットワークを作っている杉並区の運動の報告から、対抗軸の可能性を考えていきたいと思います。

- ①「今日の学校統廃合、公共施設再編をめぐる情勢について」(山本由美/和光大学)
- ②「地域住民自治組織で小規模小学校存続、飯田型コミュニティスクールとは ―長野県飯田市では―」(朝岡幸彦/東京農工大学)
- ③住民自治で統廃合計画をストップ ―福井県大野市のケース ―
- ④高円寺小中一貫校反対運動と住民のネットワーク ―東京都杉並区から

参加申し込みは民研ホームページからできます [http://www.min-ken.org]



お弁当について

会館隣のコンビニは開店していますが、周辺の食堂・レストランは、土日は閉店しております。土曜日 23 日のラウンドテーブル終了から全体会開始時間までの時間が 30 分と短いので、お弁当の注文あるいは各自ご用意されることをおすすめします。

宿泊について

土日は海外からの観光客が多く、宿泊ホテルの確保が難しくなっております。お早めに各自でご予約されることをおすすめします。